

## 1. 媒体作成条件

項番	項 目	内 容							
1	作 成 単 位	同一料金月、同一料金群でお客さま単位（会社コード単位）							
2	作 成 対 象 サ ー ビ ス	電話、I N S、フリーダイヤル、メンバーズネット、I N Sメンバーズネット、クレジット通話、Fネット、グループセキュリティ、テレゴング、ナビダイヤル、eコール、国際							
3	フォーマット形式	3. 5インチFD				CD-R	MO	EDI解凍時	
		2HD		2DD				2HD	
		1.25 MB	1.44 MB	640 KB	1.25 MB	650 MB	128 MB	1.25 MB	1.44 MB
4	最 大 出 力 件 数 ( 圧 縮 時 )	9,500 レコード	11,000 レコード					9,500 レコード	11,000 レコード
		(76,000)	(88,000)			圧縮なし			
5	使 用 コ ー ド	MS-DOS : J I Sコード IBM : E B C D I Cコード				MS-DOS : J I Sコード			
7	レ コ ー ド 長	MS-DOS : 固定長 128バイト+2バイト（復帰、改行コードが付加されます） IBM : (1レコード (128バイト) / 1セクタ 256バイト)				MS-DOS : 固定長 128バイト+2バイト（復帰、改行コードが付加されます）			
8	フ ァ イ ル 形 式	MS-DOS : 固定長テキストファイル形式 IBM : 固定長ファイル形式 （1枚に収めきれない場合は、同一ファイル名で、複数枚作成します）				MS-DOS : 固定長テキストファイル形式			
9	フ ァ イ ル 名	【FD、MO、CD-R】 R+会社コード（会社コード→弊社がお客さま識別するために付与した識別コード5桁） 例：R12345 圧縮時：R+会社コード+拡張子 例：R12345nn.exe（nn：FD作成通番。01～99） 【EDI】 Z+請求回数（0～9）+請求年（和暦2桁）+月（1～9、A、B、C）+群（1～9、A～V）+通番（01～99）						データ保存時、お客様にて任意設定	

## &lt;圧縮について&gt;

お客さま提供データの圧縮希望時は、フリーソフトウェアの「高圧縮管理プログラムLHA」を使用し、自己解凍形式（プログラム形式）で圧縮します。

## 【圧縮したデータの解凍手順】

- （1） 実行ファイル（拡張子.exeのファイル）をハードディスク等にコピーし、ダブルクリックします。
- （2） 実行ファイルが自動的にパケット番号別明細内訳書の各ファイルを読み出してファイルの復元を行います。

## 2. ファイル構成

共通管理レコード	電話番号 1														～			
	サービス区分 1						...	サービス区分 n										
	電番管理レコード	通話明細レコード	電 合		番 計 レコード	利用区分 1		...	利用区分 n	電番管理レコード	通話明細レコード	電 合		番 計 レコード		利用区分 1	...	利用区分 n

～	電話番号 n														終了レコード			
	サービス区分 1							...	サービス区分 n									
	電番管理レコード	通話明細レコード	電 合		番 計 コード	利用区分 1	...		利用区分 n	電番管理レコード	通話明細レコード	電 合		番 計 コード		利用区分 1	...	利用区分 n

注 1) 電番管理レコードは、利用内訳毎に作成します。

注 2) 電番合計レコードは、利用内訳／利用区分毎に作成します。

### 3. レコード構成

#### (1) 共通管理レコード

レコード識別	媒体識別	予備	ファイル作成日付	料金月	料金群	媒体通番	明細送付代表番号	予備	請求回数	詳細群	予備
1	2	6	6	4	1	2	12	2	1	1	90

(128 桁)

#### (2) 電番管理レコード

レコード識別	明細送付代表番号	予備	子電話番号	予備	サービス区分	予備	送付明細呼数	利用月初日	利用月末日	各種サービス番号	契約者回線番号	グループヤキユリティ	出力形式	利用内訳コード	お客様番号	ロケーションコード	ソートパターン	予備
1	12	2	13	1	2	2	7	6	6	11	13	6	1	2	13	16	1	13

(128 桁)

#### (3) 通話明細レコード (F ネット、国際以外)

レコード識別	明細送付代表番号	予備	子電話番号	サービス区分	予備	通信元電話番号	通話月日	通話開始時刻	着信電話番号	県名コード	通話時間	通話料金1	通話料金2	通話料金3	発信県名コード	通話種別コード	昼夜別コード	フリーダイヤル サービス種別	地域コード	予備
1	12	2	13	2	2	13	4	6	13	2	8	10	10	10	2	3	3	1	3	8

(128 桁)

#### (4) 通話明細レコード (F ネット)

レコード識別	明細送付代表番号	予備	子電話番号	サービス区分	予備	通信月日	通信開始時刻	通信種別コード	通信先電話番号	送信情報量	送信単位	紙サイズ・通信モード等	F ネット通信料	予備	割引種別	複数モード表示	予備
1	12	2	13	2	15	4	4	2	12	9	1	2	9	9	2	1	28

(128 桁)

## (5) 通話明細レコード (国際通話)

レコード識別	明細送付代表番号	予備	子電話番号	サービス区分	予備	通信元電話番号	通話月日	通話開始時刻	着信先電話番号	国名コード	通話時間	通話料金	予備	通話種別コード	昼夜別コード	予備
1	12	2	13	2	2	13	4	6	15	2	8	10	13	4	3	18

(128桁)

## (6) 電番合計レコード (メンバーズネット・Fネット以外)

レコード識別	明細送付代表番号	予備	子電話番号	サービス区分	利用区分	予備	合計金額	月間加減算金額	区域内合計金額	非希望時合計金額	請求額	通話時間	予備
1	12	2	13	2	2	1	9	9	9	9	9	10	40

(128桁)

## (7) 電番合計レコード (メンバーズネット)

レコード識別	明細送付代表番号	予備	子電話番号	サービス区分	利用区分	予備	合計金額	その他計	加減算計	未送付計	請求分計 (割引適用分)	請求分計 (通常通話料)	I識別	予備
1	12	2	13	2	2	1	9	9	9	9	9	9	1	40

(128桁)

## (8) 電番合計レコード (Fネット)

レコード識別	明細送付代表番号	予備	子電話番号	サービス区分	利用区分	予備	合計Fネット通信料	月間加減算通信料	区域内合計通信料	非希望時合計通信料	請求額通信料	通信時間	予備
1	12	2	13	2	2	1	9	9	9	9	9	10	40

(128桁)

## (9) 終了レコード

レコード識別	FD枚数	総出力レコード数	予備
1	2	9	116

(128桁)

## 4. レコード内容

## (1) 共通管理レコード

項番	項 目 名	区分	桁数	内 容
1	レ コ ー ド 識 別	文字	1	「1」固定
2	媒 体 識 別	文字	2	提供媒体種別を設定 F D の場合… 「FD」 M O の場合… 「MO」 C D - R の場合… 「CD」 E D I の場合… 「ED」 ビリングステーションご契約の場合… 「BS」 (注 1)
3	予 備	文字	6	
4	フ ァ イ ル 作 成 日 付	文字	6	YYMMDD (YY は和暦) 例：平成 14 年 11 月 3 日→「141103」
5	料 金 月	文字	4	YYMM (YY は和暦) 例：平成 14 年 11 月→「1411」
6	料 金 群	文字	1	「1」～「6」 詳細は、項番 5 コード表「料金群・詳細群」を参照
7	媒 体 通 番	数字	2	「01」～「99」を設定
8	明 細 送 付 代 表 番 号	文字	1 2	明細一括送付 I D を設定 例：「123456789012」 (カッコ、ハイフン編集なし)
9	予 備	文字	2	
1 0	請 求 回 数	文字	1	同一請求番号で、同一期別内に請求書を発行した回数 (料金群変更時等) ※再発行は対象外 ※回数は 0 から起算。例：初回請求時「0」
1 1	詳 細 群	文字	1	詳細群を「A」～「V」、「1」～「9」で設定 詳細は、項番 5 コード表「料金群・詳細群」を参照
1 2	予 備	文字	9 0	

(注 1) : ビリングステーション

ビリングステーションとは、電話等サービスの「料金・通話明細データ」を専用 Web サーバ  
ーからダウンロードできるオンラインサービスです。

## (2) 電番管理レコード

項番	項 目 名	区分	桁数	内 容
1	レ コ ー ド 識 別	文字	1	「2」固定
2	明 細 送 付 代 表 番 号	文字	12	明細一括送付IDを設定 例：「123456789012」 (カッコ、ハイフン編集なし)
3	予 備	文字	2	
4	子 電 話 番 号	文字	13	発信電話番号を設定 (フリーダイヤル、クレジット等の場合、課金先電話番号を設定) 例：「(03) 1234-5678」 (カッコ付ハイフン編集) 11桁電話番号の場合、課金先電話番号を設定 例：「090-1234-5678」(ハイフン編集) (注1)
5	予 備	文字	1	
6	サ ー ビ ス 区 分	文字	2	サービス区分コードを設定 詳細は、「通話料金明細内訳書各種コード表」の利用種類コードを参照 (利用種類コードの上2桁) 例：電話「00」、INS「01」、フリーダイヤル「02」等
7	予 備	文字	2	
8	送 付 明 細 呼 数	文字	7	通話回数を設定 (右詰め、余白は「0」埋め) 例：「0000789」
9	利 用 月 日 初 日	文字	6	ご利用期間初日 YYMMDD (YYは和暦) 例：平成14年11月6日→「141106」
10	利 用 月 日 末 日	文字	6	ご利用期間初日 YYMMDD (YYは和暦) 例：平成14年12月5日→「141205」
11	各 種 サ ー ビ ス 番 号	文字	11	サービス番号をハイフン編集して設定 例：フリーダイヤル「0120-123456」 「800-1234567」 テレホン「0180-123456」 ナビダイヤル「0570-123456」 eコール「06012345678」
12	契 約 者 回 線 番 号	文字	13	サービス区分「04」(グループセキュリティ)の場合、契約者回線番号を設定し、項番4と同様に編集 サービス区分「31」(国際ISDN)、「32」(国際VPN)の場合は、国際ID (左詰め、余白はスペース) を設定 例：「T1234567890△△」 上記以外はスペース
13	グ ル ー プ セ キ ュ リ テ ィ	文字	6	サービス区分「04」(グループセキュリティ)の場合、インデックスコードを設定 (左詰め、余白はスペース) 上記以外はスペース

## (2) 電番管理レコードの続き

項番	項 目 名	区分	桁数	内 容
14	出 力 形 式	文字	1	サービス区分「02」(フリーダイヤル)、「12」(ナビダイヤル)の場合、「1」(地域別)または「2」(呼毎)を設定 サービス区分「07」(テレホンカ)の場合、「1」(地域別)を設定 サービス区分「01」(INS)、「13」(INSメンバーズ)の場合、「3」(発信者番号通知あり)または「4」(発信者番号通知なし)を設定 上記以外は「1」を設定
15	利 用 内 訳 コ ー ド	文字	2	通話毎の利用内訳コードを設定 例：NTTコミュニケーションズ「03」 携帯電話会社 「04」 PHS会社 「05」 ポケットベル会社 「06」
16	お 客 様 番 号	文字	13	サービス区分「31」(国際ISDN)、「32」(国際電話)、「33」(国際VPN)の場合のみ、国際電話契約番号を設定 (左詰、余白はスペース) 例：「1234567890△△△」
17	ロ ケ ー シ ョ ン コ ー ド	文字	16	国際VPNサービスの場合、ロケーションコードを設定(左詰、余白はスペース) 例：「123△△～△△」 上記以外はオールスペースを設定
18	ソ ー ト パ タ ー ン	文字	1	国際電話サービスの場合、ソートパターンコードを設定(注2) 上記以外はスペース
19	予 備	文字	13	

(注1)：11桁電話番号の編集方法

①携帯／PHS番号で国際バンドル明細(※)⇒ 3-4-4 編集 (090-1234-5678)

②携帯／PHS番号で国際バンドル明細以外⇒ 3-3-5 編集 (090-123-45678)

③050VoIP番号⇒ 3-4-4 編集 (050-1234-5678)

※バンドル明細の場合、サービス区分に「31(国際ISDN)」、「32(国際電話)」、「33(国際VPN)」が設定されます。

(注2)：ソートパターンについて

お客さまからのお申し込みにより、次のとおりソート出力いたします。

(国際ISDN／国際VPNについては、ソートサービスはございません)

ソートパターンコード	ソート順
0	通話月日
1	通話先一通話月日
2	通話種別一通話月日
3	通話先一通話種別一通話月日
4	通話種別一発信元一通話月日
5	課金先一発信元一通話月日

## (3) 通話明細レコード (Fネット、国際以外)

項番	項目名	区分	桁数	内 容
1	レコード識別	文字	1	「3」固定
2	明細送付代表番号	文字	12	明細一括送付IDを設定 例:「123456789012」 (カッコ、ハイフン編集なし)
3	予備	文字	2	
4	子電話番号	文字	13	発信電話番号を設定 (フリーダイヤル、クレジット等の場合、課金先電話番号を設定) 例:「(03) 1234-5678」(カッコ付ハイフン編集) 11桁電話番号の場合、課金先電話番号を設定 例:「090-123-45678'''050-1234-5678」(ハイフン編集)
5	サービス区分	文字	2	サービス区分コードを設定 詳細は、「通話料金明細内訳書各種コード表」の利用種類コードを参照 (利用種類コードの上2桁) 例: 電話「00」、INS「01」、フリーダイヤル「02」等
6	予備	文字	2	
7	通信元電話番号	文字	13	サービス区分「01」(INS)、「13」(INSメンバーズ)で出力形式「3」(発信者番号通知あり)の場合、発信者番号を設定 (左詰め、余白はスペース、市外局番は表示いたしません) 例:「1234-5678△△△△」 サービス区分「10」(クレジット)の場合、会員番号を設定 (左詰め、余白はスペース) 例:「1234567890△△△△」 ダイヤルイン追加番号の場合、発信者番号を設定 例:「1234-5678」(市外局番は表示しません) 上記以外はスペース
8	通話月日	文字	4	通話毎の発信月日 MM (月) DD (日) 例: 11 月 6 日→「1106」
9	通話開始時刻	文字	6	通話毎の開始時刻 HH (時) MM (分) SS (秒) 例: 14 時 3 分 1 秒→「140301」 サービス区分「02」(フリーダイヤル)、「07」(テレゴング)、「12」(レディダイヤル)で出力形式が「1」(地域別)の場合は、オール「9」を設定
10	着信電話番号	文字	13	通話先電話番号 (右詰め、余白スペース、ハイフン編集) 例:「△03-1234-5678」 例:「△03-1234-****」 (マスク有無はユーザーが契約時に選択) 11桁電話番号の場合 例:「090-123-45678」「050-1234-5678」 フリーダイヤルで受付先変更の場合、受変元/受変先番号を設定 フリーダイヤルで受付先変更以外の場合、通話先電話番号を設定 「07」(テレゴング)の場合は、スペースを設定



(3) 通話明細レコード (F ネット、国際以外) の続き

項番	項 目 名	区分	桁数	内 容
1 1	県 名 コ ー ド	文字	2	サービス区分「02」(フリーダイヤル)、「07」(テレホンカ)、「12」(ナビダイヤル)で出力形式「1」の場合、及び「03」(メンバーズ)、「13」(INSメンバーズ)の場合、「00」を設定 上記以外は県名コードを設定 詳細は、「ダイヤル通話料金明細内訳書各種コード表」の県名コード表を参照
1 2	通 話 時 間	文字	8	通話毎の通話時間を設定 形式：HHH (時) MM (分) SSS (秒) (右詰め、余白は「0」を設定) 例：8.0 秒の場合 「00000080」 例：1 分 12.5 秒の場合 「00001125」 例：1 時間 25 分 6.0 秒の場合「00125060」 ※秒については、0.5 秒単位で表示
1 3	通 話 料 金 1 ※INS-VPN以外の場合、通話・通信料をセット ※INS-VPNの場合、遠距離(市外)通話・通信料をセット	文字	1 0	通話料金(小数点第1位まで)を設定 (右詰め、余白は「0」、下1桁は小数点第1位) 例：10 円の場合 「0000000100」 例：20.5 円の場合「0000000205」
1 4	通 話 料 金 2 ※INS-VPNの場合、近距離(市内)通話・通信料をセ	文字	1 0	番号案内「1 0 4」の場合、回数を設定
1 5	通 話 料 金 3 ※INS-VPNの場合、その他(移動体への)通話・通信料をセット	文字	1 0	エンジェルライン、あんないゾースご利用時の情報料は、検索回数を設定 (右詰め、余白は「0」、下1桁は小数点第1位)例：10 回の場合 「0000000100」
1 6	発 信 県 名 コ ー ド	文字	2	サービス区分「02」(フリーダイヤル)、「07」(テレホンカ)、「12」(ナビダイヤル)で出力形式「1」(地域別)の場合、県名コードを設定 上記以外はオールゼロを設定
1 7	通 話 種 別 コ ー ド	文字	3	通話種別コードを設定 詳細は、「ダイヤル通話料金明細内訳書各種コード表」の通話種別コードを参照
1 8	昼 夜 別 コ ー ド	文字	3	通話時間帯(昼夜別コード)を設定 詳細は、「ダイヤル通話料金明細内訳書各種コード表」の昼夜別コードを参照

(3) 通話明細レコード (F ネット、国際以外) の続き

項番	項 目 名	区分	桁数	内 容
19	フ リ ー ダ イ ヤ ル サ ー ビ ス 種 別	文字	1	サービス区分「02」(フリーダイヤル)、「12」(ホテダイヤル)、「14」(e コール) の場合、サービス種別コードを設定 詳細は、「ダイヤル通話料金明細内訳書各種コード表」のフリーダイヤルサービス種別表、ホテダイヤルサービス種別表を参照 上記以外はスペース
20	地 域 コ ー ド	文字	3	サービス区分「02」(フリーダイヤル)、「12」(ホテダイヤル) で、出力形式「2」(呼毎明細出力) の場合、及び「03」(メンバーズ)、「13」(INS メンバーズ)、「10」(クレジット) の場合、発MAコードを設定 詳細は、「ダイヤル通話料金明細内訳書各種コード表」の発MAコード表参照 上記以外はオールゼロ設定
21	予 備	文字	8	

## (4) 通話明細レコード(Fネット)

項番	項 目 名	区分	桁数	内 容
1	レ コ ー ド 識 別	文字	1	「3」固定
2	明 細 送 付 代 表 番 号	文字	1 2	明細一括送付IDを設定 例：「123456789012」 (カッコ、ハイフン編集なし)
3	予 備	文字	2	
4	子 電 話 番 号	文字	1 3	発信電話番号を設定 例：「(03) 1234-5678」 (カッコ付ハイフン編集)
5	サ ー ビ ス 区 分	文字	2	「40」固定
6	予 備	文字	1 5	
7	通 信 月 日	文字	4	通信毎の発信月日 MM(月)DD(日) 例：11月6日→「1106」
8	通 信 開 始 時 刻	文字	4	通話毎の開始時刻 HH(時)MM(分)SS(秒)
9	通 信 種 別 コ ー ド	文字	2	通信毎の通信種別コードを設定 詳細は、「ダイヤル通話料金明細内訳書各種コード表」 のFネット通信種別コード表参照
10	通 信 先 電 話 番 号	文字	1 2	通信毎の着信先電話番号を設定 (右詰め、ハイフン編集、余白はスペース) 例：「03-1234-5678」
11	送 信 情 報 量	文字	9	通信毎の情報量(紙サイズ通信モード単位)を設定
12	送 信 単 位	文字	1	送信情報の送付単位を設定 詳細は、「ダイヤル通話料金明細内訳書各種コード表」 のFネット情報量単位コード表参照
13	紙サイズ・通信モード等	文字	2	通信毎の紙サイズ・通信モードを設定 詳細は、「ダイヤル通話料金明細内訳書各種コード表」 の紙サイズ通信モードコード表参照
14	F ネット 通 信 料	文字	9	通信毎のFネット通信料を設定(整数値設定、右詰め、 余白は「0」を設定) 例：10円の場合 「000000010」
15	予 備	文字	9	
16	割 引 種 別	文字	2	Fネット割引種別を設定 詳細は、「ダイヤル通話料金明細内訳書各種コード表」 のFネット割引種別コード表参照
17	複 数 モ ー ド 表 示	文字	1	1通信複数モードの場合、1レコード目に「1」、 2レコード目以降の場合「2」を設定 その他はスペース
18	予 備	文字	2 8	

## (5) 通話明細レコード (国際通話)

項番	項 目 名	区分	桁数	内 容
1	レ コ ー ド 識 別	文字	1	「3」固定
2	明 細 送 付 代 表 番 号	文字	1 2	明細一括送付 I D を設定 例：「123456789012」 (カッコ、ハイフン編集なし)
3	予 備	文字	2	
4	子 電 話 番 号	文字	1 3	発信電話番号を設定 (第三者課金サービスの場合、課金先電話番号を設定) 例：「(03) 1234-5678」 (カッコ付ハイフン編集) 11桁電話番号の場合、課金先電話番号を設定 例：“090-123-45678”(ハイフン編集) (注1)
5	サ ー ビ ス 区 分	文字	2	サービス区分コードを設定 詳細は、「ダイヤル通話料金明細内訳書各種コード表」 の利用種類コード表参照(利用種類コードの上2桁) 例：国際通話「30」等
6	予 備	文字	2	
7	通 信 元 電 話 番 号	文字	1 3	国際電話サービスでソートパターン「5」の場合、 発信元電話番号(第三者発信分)の通話に対してのみ 設定 課金先電話番号(自電番)の場合はスペース設定 ビリングステーションについては、出力形式“発 ID 有” の場合、発信者番号を設定 例：「12-3456-7890」(市外局番を表示します) 上記以外はスペースを設定
8	通 話 月 日	文字	4	通話毎の発信月日 MM (月) DD (日) 例：11 月 6 日→「1106」
9	通 話 開 始 時 刻	文字	6	通話毎の開始時刻 HH (時) MM (分) SS (秒) 例：14 時 3 分 1 秒→「140301」
10	通 話 先 電 話 番 号	文字	1 5	通話先電話番号を出力希望の場合、通話先電話番号を 設定(余白はスペース) 例：「312345678235△△△」 上記以外はスペースを設定
11	国 名 コ ー ド	文字	2	通話先の国名コードを設定 詳細は、「ダイヤル通話料金明細内訳書各種コード表」 の国名コード表を参照
12	通 話 時 間	文字	8	通話毎の通話時間を設定 形式：HHH (時) MM (分) SSS (秒) (右詰め、余白は「0」埋め) 例：8.0 秒の場合 「00000080」 例：1 分 12.5 秒の場合 「00001125」 例：1 時間 25 分 6.0 秒の場合「00125060」 ※秒については、0.5 秒単位で表示
13	通 話 料 金	文字	1 0	通話料金(小数点第1位まで)を設定 (右詰め、余白は「0」埋め、下1桁は小数点第1位) 例：10 円の場合 「0000000100」 例：20.5 円の場合 「0000000205」
14	予 備	文字	1 3	

(5) 通話明細レコード(国際通話)の続き

項番	項 目 名	区分	桁数	内 容
15	通 話 種 別 コ ー ド	文字	4	国際通話種別コードを設定(余白はスペース) 詳細は、「ダイヤル通話料金明細内訳書各種コード表」 の通話種別コード表参照
17	昼 夜 別 コ ー ド	文字	3	通話時間帯(昼夜別コード)を設定 (余白はスペース) 詳細は、「ダイヤル通話料金明細内訳書各種コード表」 の昼夜別コード表参照
18	予 備	文字	18	

(注1) : 11 桁電話番号の編集方法

①携帯/PHS 番号で国際バンドル明細(※) ⇒ 3-4-4 編集 (090-1234-5678)

②携帯/PHS 番号で国際バンドル明細以外(※※) ⇒ 3-3-5 編集 (090-123-45678)

※バンドル明細の場合、サービス区分に「31(国際 I S D N)」、「32(国際電話)」、  
「33(国際 V P N)」が設定されます。

※※バンドル明細以外の場合、サービス区分に「30(国際)」が設定されます。

## (6) 電番合計レコード (メンバーズネット・F ネット以外)

項番	項 目 名	区分	桁数	内 容
1	レ コ ー ド 識 別	文字	1	「5」固定
2	明 細 送 付 代 表 番 号	文字	1 2	明細一括送付 I D を設定 例：「123456789012」 (カッコ、ハイフン編集なし)
3	予 備	文字	2	
4	子 電 話 番 号	文字	1 3	実際の発信電話番号を設定 例：「(03) 1234-5678」 (カッコ付ハイフン編集) 11 桁電話番号の場合、課金先電話番号を設定 例：“090-123-45678” (ハイフン編集) (注 1)
5	サ ー ビ ス 区 分	文字	2	サービス区分コードを設定 詳細は、「ダイヤル通話料金明細内訳書各種コード表」 の利用種類コード表参照 (利用種類コードの上 2 桁) 例：電話「00」、I N S 「01」、フリーダイヤル「02」等
6	利 用 区 分	文字	2	利用区分を設定 詳細は、「ダイヤル通話料金明細内訳書各種コード表」 の利用種類コード表参照 (利用種類コードの下 2 桁)
7	予 備	文字	1	
8	合 計 金 額	文字	9	ご利用期間内の通話明細レコードの合計金額を設定 (整数値、右詰め、余白は「0」を設定) 例：10 円の場合 「000000010」
9	月 間 加 減 算 金 額	文字	9	オールゼロを設定
10	区 域 内 合 計 金 額	文字	9	オールゼロを設定
11	非 希 望 時 合 計 金 額	文字	9	オールゼロを設定
12	請 求 額	文字	9	項番 8～11 の合計金額を設定 (整数値、右詰め、余白は“0”を設定) 例：10 円の場合 「000000010」
13	通 話 時 間	文字	1 0	サービス区分「02」(フリーダイヤル)、「07」(テレホンカ*)、「10」 (クレジット)、「12」(パダイヤル)の場合、通話時間の総 合計を設定 形式：HHHHH (時) MM (分) SSS (秒) 例：1 時間 25 分 6.0 秒→「0000125060」 上記以外はオールゼロを設定
14	予 備	文字	4 0	

(注 1) : 11 桁電話番号の編集方法

- ①携帯／PHS 番号で国際バンドル明細 (※) ⇒ 3-4-4 編集 (090-1234-5678)  
 ②携帯／PHS 番号で国際バンドル明細以外 ⇒ 3-3-5 編集 (090-123-45678)  
 ③050VoIP 番号 ⇒ 3-4-4 編集 (050-1234-5678)

※バンドル明細の場合、サービス区分に「31 (国際 I S D N)」、「32 (国際電話)」、  
「33 (国際 V P N)」が設定されます。

## (7) 電番合計レコード (メンバーズネット)

項番	項目名	区分	桁数	内 容
1	レコード識別	文字	1	「5」固定
2	明細送付代表番号	文字	12	明細一括送付IDを設定 例:「123456789012」 (カッコ、ハイフン編集なし)
3	予備	文字	2	
4	子電話番号	文字	13	発信電話番号を設定 例:「(03) 1234-5678」(カッコ付ハイフン編集) 11桁電話番号の場合課金先電話番号を設定 例:“090-123-45678”“050-1234-5678”(ハイフン編集)
5	サービス区分	文字	2	アロケメンバーズ→「03」 INSメンバーズ→「13」
6	利用区分	文字	2	利用区分を設定 詳細は、「ダイヤル通話料金明細内訳書各種コード表」 の利用種類コード表参照 (利用種類コードの下2桁)
7	予備	文字	1	
8	合計金額	文字	9	ご利用期間内の通話明細レコードの合計金額を設定 (整数値、右詰め、余白は「0」を設定) 例: 10 円の場合 「000000010」
9	その他計	文字	9	オールゼロを設定
10	加減算計	文字	9	オールゼロを設定
11	未送付計	文字	9	オールゼロを設定
12	請求分計 (割引適用分)	文字	9	オールゼロを設定
13	請求分計 (通常通話料)	文字	9	オールゼロを設定
14	I 識別	文字	1	アロケメンバーズ 通話モード→「スペース」 INSメンバーズ (通話モード)→「1」 INSメンバーズ (デジタル64kb 通信モード)→「2」
15	予備	文字	40	

## (8) 電番合計レコード (F ネット)

項番	項 目 名	区分	桁数	内 容
1	レ コ ー ド 識 別	文字	1	「5」固定
2	明 細 送 付 代 表 番 号	文字	1 2	明細一括送付 I D を設定 例：「123456789012」 (カッコ、ハイフン編集なし)
3	予 備	文字	2	
4	子 電 話 番 号	文字	1 3	発信電話番号を設定 例：「(03) 1234-5678」 (カッコ付ハイフン編集)
5	サ ー ビ ス 区 分	文字	2	「40」固定
6	利 用 区 分	文字	2	利用区分を設定 詳細は、「ダイヤル通話料金明細内訳書各種コード表」 の利用種類コード表参照 (利用種類コードの下 2 桁)
7	予 備	文字	1	
8	合 計 F ネ ッ ト 通 信 料	文字	9	ご利用期間内の F ネット通信明細レコードの合計金額 を設定 (整数値、右詰め、余白は “0” を設定) 例：10 円の場合 「000000010」
9	月 間 加 減 算 通 信 料	文字	9	オールゼロを設定
1 0	区 域 内 合 計 通 話 料	文字	9	オールゼロを設定
1 1	非 希 望 時 合 計 通 話 料	文字	9	オールゼロを設定
1 2	請 求 額 通 話 料	文字	9	項番 8～11 の合計金額を設定 (整数値、右詰め、余白は “0” を設定) 例：10 円の場合 「000000010」
1 3	通 信 時 間	文字	1 0	オールゼロを設定
1 4	予 備	文字	4 0	

## (9) 終了レコード

項番	項 目 名	区分	桁数	内 容
1	レ コ ー ド 識 別	文字	1	「9」固定
2	F D 枚 数	文字	2	「01」～「99」
3	総 出 力 レ コ ー ド 数	文字	9	共通レコード及び終了レコードを含むレコード数
4	予 備	文字	1 1 6	



## 5. コード表「料金群・詳細群」

料金群は、弊社（NTTCom）が、お客さまのお支払い期限に合わせて「1(A)」～「6(F)」で設定、詳細群は「A」、「F」、「L」、「Q」、「V」、「5」で設定します。

群		詳細群	毎月のお支払期限 ( 標 準 )	ご利用料金の計算期間
数字	英字			
1	A	A	20日	前々月の21日～前月の20日
2	B	F	25日	前々月の26日～前月の25日
3	C	L	31日	前月の1日～前月の末日
4	D	Q	5日	前月の6日～当月の5日
5	E	V	10日	前月の11日～当月の10日
6	F	5	15日	前月の16日～当月の15日

【注】お支払期限が、土曜日、日曜日、祝日の場合、翌営業日がお支払い期限となります。

## 6. マイナス金額時の記録形式

(1) IBM (EBCDICコード)

マイナス 金 額	表示 形式	内訳金額欄								
		1 桁 目	2 桁 目	3 桁 目	4 桁 目	5 桁 目	6 桁 目	7 桁 目	8 桁 目	9 桁 目
-100	文 字	0	0	0	0	0	0	1	0	J
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D0
-101	文 字	0	0	0	0	0	0	1	0	J
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D1
-102	文 字	0	0	0	0	0	0	1	0	K
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D2
-103	文 字	0	0	0	0	0	0	1	0	L
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D3
-104	文 字	0	0	0	0	0	0	1	0	M
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D4
-105	文 字	0	0	0	0	0	0	1	0	N
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D5
-106	文 字	0	0	0	0	0	0	1	0	O
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D6
-107	文 字	0	0	0	0	0	0	1	0	P
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D7
-108	文 字	0	0	0	0	0	0	1	0	Q
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D8
-109	文 字	0	0	0	0	0	0	1	0	R
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D9

注：F0～F9：数字「0」～「9」の16進数表示。

D0～D9：マイナス付き数字「0」～「9」の16進数表示。

## (2) DOS (JIS8コード)

マイナス 金 額	表 示 形 式	内訳金額欄									
		1 桁 目	2 桁 目	3 桁 目	4 桁 目	5 桁 目	6 桁 目	7 桁 目	8 桁 目	9 桁 目	10 桁 目
－１００	文字	－	０	０	０	０	０	０	１	０	０
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	30
－１０１	文字	－	０	０	０	０	０	０	１	０	１
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	31
－１０２	文字	－	０	０	０	０	０	０	１	０	２
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	32
－１０３	文字	－	０	０	０	０	０	０	１	０	３
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	33
－１０４	文字	－	０	０	０	０	０	０	１	０	４
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	34
－１０５	文字	－	０	０	０	０	０	０	１	０	５
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	35
－１０６	文字	－	０	０	０	０	０	０	１	０	６
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	36
－１０７	文字	－	０	０	０	０	０	０	１	０	７
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	37
－１０８	文字	－	０	０	０	０	０	０	１	０	８
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	38
－１０９	文字	－	０	０	０	０	０	０	１	０	９
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	39

注、2D：マイナス「－」の16進数表示。30～39：数字「0」～「9」の16進数表示。